

第6章 自社製品に組み込んで Bluetooth対応とうたえる!

UART入出力の BluetoothモジュールZEAL-C02

野口 泰 Yasushi Noguchi

Bluetoothは、携帯機器のヘッドセットやパソコンのマウスなど多くの機器に採用されています。USB接続の dongle は数百円で売られているなど、安価で身近な近距離通信の方式です。ここでは、定番インターフェースRS-232-Cを簡単にワイヤレス化できるモジュールを紹介します。(編集部)

ZEAL-C02(ES)+ピッチ変換基板を、5名様にプレゼント!

応募方法の詳細はp.219を参照してください。

※本製品の当選者の氏名は、問い合わせ対応のためメーカーに提供します。ご了承ください

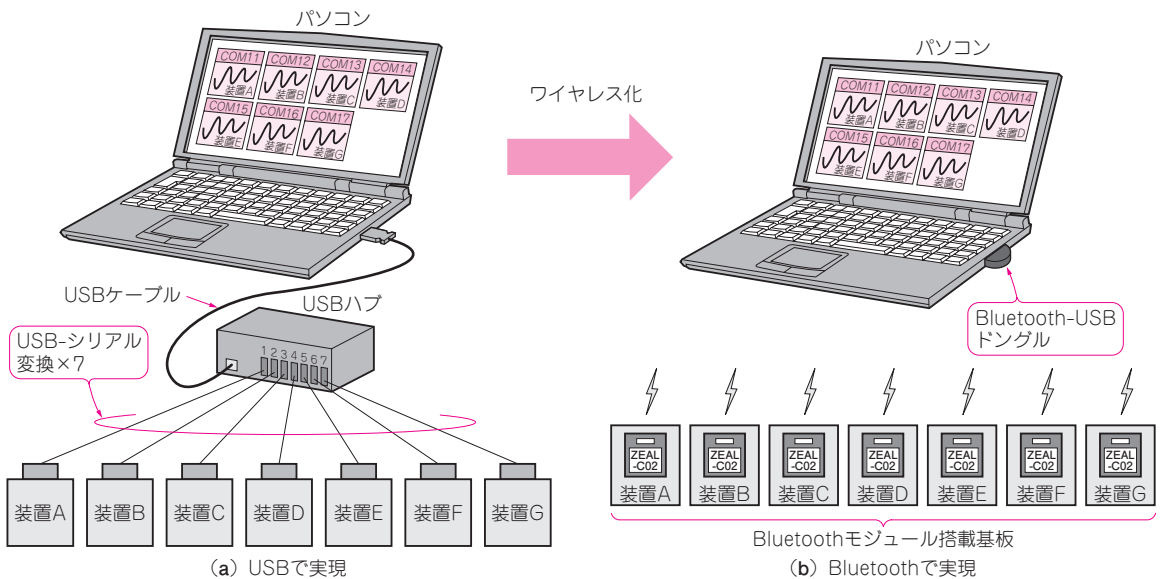


図1 Bluetoothでは7台の装置とスッキリと通信できる

測定装置などには、昔からRS-232-Cと呼ばれるシリアル通信が使われています。

BluetoothモジュールZEAL-C02は、UARTインターフェースによりマイコンと通信します(写真1)。パソコンなどホスト機器にてオープンするCOMポート番号を変更すれば、RS-232-C、USB、Bluetoothと通信の選択肢を増やせます。

Bluetoothはここがいい

● パソコンだけでなく携帯機器にも搭載されている一部のパソコンや多くの携帯機器がBluetoothを内

蔵しています。標準で搭載されていなくても家電量販店などで販売されているUSB dongle を使って、簡単にBluetooth機能を搭載できます。

例えばデータ・ロガーとパソコン間を無線化しようとした時にBluetooth以外の規格を選ぶと、データ・ロガー側もパソコン側にも無線モジュールを用意する必要があります。Bluetoothならばデータ・ロガー側にだけBluetooth機能を搭載すれば、パソコン側はハードを変更せずに使えます。

● パソコン1台で7台のBluetooth機器と通信できる Bluetoothを搭載した無線機器には、マスタとスレ